

事務事業評価表(既存事業)

コード 7-3-1	事務事業名 児童館運営事業	所管部課 児童青少年部児童課					
事務事業の概要	事務事業の目的 児童に健全な遊びを与え、又は情操を豊にするための児童館・児童センターを設置し、放課後児童の健全育成を図ることを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)創造性の育つまちづくり (施策)子ども参加の促進(創2-1) (主要施策)児童館施設の計画的な整備					
	実施内容、実施方法 各児童館・児童センターにおける各種行事 児童館の再編成	根拠法令等					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 開館日数	活動指標の考え方(定義) 開館日数(全14児童館延べ日数)					
	行事開催回数	行事開催回数(全14児童館延べ回数)					
	成果指標名 来館者数	成果指標の考え方(定義) 来館者数(全14児童館延べ来館者数)					
	行事参加者数	行事参加者数(全14児童館延べ参加者数)					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		0	0	69,270	76,141	
	国庫支出金	千円					
	都支出金				6,956	6,956	
	地方債						
	その他				497	500	
	一般財源				61,817	68,685	
	所要人員(B)	人			40.00	40.00	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	0	0	333,120	333,120	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	0	0	402,390	409,261	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(来館者数)	千円	0	0	0.83		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値	日			3,985	3,772
		実績値	日			4,006	
活動指標	目標値	回			1,350	1,250	
	実績値	回			1,674		
成果指標	目標値	人			398,500	377,200	
	実績値	人			483,780		
成果指標	目標値	人			67,500	62,500	
	実績値	人			79,476		
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	子育ての地域の拠点として、評価を受けている。					
	国・都・他市・民間等 における類似事業	他市においても児童館がある。					
	運営上の制約条件・ 外部要因等	児童福祉法等の法令					

コード 7-3-1	事務事業名 児童館運営事業	所管部課 児童青少年部児童課
--------------	------------------	-------------------

項目	評価結果	判断理由、説明等
事業所管部評価	実績 <input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	483,780人の利用があり、また、行事参加者も79,476人の参加があり、地域住民、関係各機関からの評価が高い。
	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 増大 <input type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	少子化、核家族化により、子育て施設の拠点として必要であり、ますますの充実を期待されている。 また、中高生の居場所についての役割も期待されている。
	効率性 <input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	現体制において実績を上げており、評価されている。しかし、将来の児童館のあり方については、調査、検討の余地がある。 また、他機関との連携・協力も検討課題であり、運営の委託化の可能性についても検討する必要がある。
	公平性 <input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	市内に13館1分室があり、数は充足しており、各館同水準の事業を展開しており公平性に問題はない。
	総合評価 <input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	今後、特色をもった特化機能を付加した児童館と従来の地域型児童館に再編成していく。

17年度における改善点	中高生向けの事業を実施する。 今後の児童館のあり方を児童館職員によるプロジェクトで検討する。 地域の子育て支援に向け保育園との連携強化を図り、より効率化を進め充実させたい。
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	現在の取組内容を継続して実施する。
--------	---	-------------------

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。